

(2) 業務統計表

令和5年度保健福祉事務所等精神保健福祉業務統計Ⅰ

1 把握区分

	人 員		
	実人員	うち新規	延人員
相 談	0	0	0
訪 問	0	0	0

2 相談性別・年齢

	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0～9才	10～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80才以上	不明
実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

性別計 年齢計

0 0
0 0

2 相談性別・年齢

性別計(左)と年齢計(右)は同数となる。

3 訪問性別・年齢

	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0～9才	10～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80才以上	不明
実人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

性別計 年齢計

0 0
0 0

4 相談・訪問契機

	実人員	市町村	医療機関	家族	本人	警察	教育機関	相談支援事業所	その他
相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち新規)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪 問	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち新規)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 相談・訪問契機

相談及び訪問の実人員は、「1 把握区分」の実人員と同数となる。

5 相談者 ※内訳は複数回答のため計>1把握区分延人員となる

	計	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相 談	0	0	0	0	0	0
訪 問	0	0	0	0	0	0

6 援助方法(相談)

	計	所内面接	電話	文書	メール
相 談	0	0	0	0	0

7 援助方法(訪問)

	計	家庭	事業所	医療機関	市町村	その他
訪 問	0	0	0	0	0	0

8 相談種別

	計	治療の問題	生活の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相 談	0	0	0	0	0	0
訪 問	0	0	0	0	0	0

6 援助方法(相談)
7 援助方法(訪問)
8 相談種別

相談、訪問の計は、「1 把握区分」の延人員と同数となる。

9 診断名

	実人員	器質性精神障害	アルコール使用による精神及び行動の障害	アルコール以外の精神作用物質使用による精神及び行動の障害	統合失調症・妄想性障害	気分(感情)障害	神経症性・ストレス関連障害	生理的障害等	成人のパーソナリティおよび行動障害	精神遅滞(知的障害)	心理的発達の障害	小児期・青年期の障害	てんかん	診断保留・特定不能	精神障害と認めず	未受診	不明
相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪 問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9 診断名

診断名の実人員は、「1 把握区分」の実人員と同数となる。

10 医療状況

	計	入院	通院	中断	未受診	不明
相談	0	0	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0	0	0

11 生活状況

	計	就労・就学	日中活動参加	在宅のみ	家事等	入院、施設入所等	不明
相談	0	0	0	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0	0	0	0

12 世帯状況

	計	単身世帯	同居世帯	不明
相談	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0

13 担当者 ※内訳は複数回答のため 計 > 1把握区分延人員となる

	計	医師	福祉職	保健師	事務職	その他職員
相談	0	0	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0	0	0

14 地域保健・健康増進事業報告 ※「相談(電話)」「相談(メール)」は「相談」の内数のため 相談≧相談(電話)+相談(メール)となる

	実人員	延人員	老人精神保健	社会復帰	アルコール	新規者(再掲)	薬物	新規者(再掲)	ギャンブル	新規者(再掲)	ゲーム	新規者(再掲)	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	延人員の再掲					
																			ひきこもり	発達障害	自殺関連	自死遺族	犯罪被害	災害
相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相談(電話)	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
相談(メール)	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
訪問	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

15 特定の問題群 ※内訳は複数回答のため 計 > 1把握区分延人員となる

	計	該当なし	性格上の問題	児童虐待	家庭内暴力	DV	高齢者虐待	食生活上の問題	アディクション	障害者虐待	近隣苦情
相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- 10 医療状況
- 11 生活状況
- 12 世帯状況
- 13 担当者

相談及び訪問の計は、「1 把握区分」の延人員と同数となる。

14 地域保健・健康増進事業報告

※「延人員の再掲」とは地域保健・健康増進事業報告で、「老人精神保健」・「その他」のいずれかを選択した人が、再掲項目に該当した場合に計上される。(該当なしは空白)

相談(実人員・延人員)及び訪問(実人員・延人員)は、